



平成 25 年 7 月 5 日

各 位

会 社 名	J ト ラ ス ト 株 式 会 社
代表者の役職名	代表取締役社長 藤 澤 信 義
(コード番号	8 5 0 8)
(上場取引所	大阪証券取引所 市 場 第 2 部)
問い合わせ先	取 締 役 常 陸 泰 司
電 話 番 号	0 3 - 4 3 3 0 - 9 1 0 0

当社連結子会社による資産譲渡契約に係る譲受債権内容の確定に関するお知らせ
(開示事項の経過)

当社は、平成 25 年 5 月 10 日付けで公表いたしました「当社連結子会社による資産譲渡契約締結に関するお知らせ」のとおり、当社の連結子会社である K C カード株式会社の連結子会社である親愛貯蓄銀行株式会社（以下、「親愛貯蓄銀行」といいます。）は、株式会社エイチケー貯蓄銀行（本店：韓国・ソウル特別市）から同社の貸付債権の一部譲受けを内容とする資産譲渡契約を締結し、平成 25 年 6 月 30 日を目途に当該譲受債権にかかる確定作業を行っておりましたが、今般、その内容が確定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 譲受債権の内容

(1) 債権の種類	消費者信用貸付債権
(2) 譲受債権額	173,588 百万ウォン（約 153 億円）
(3) 譲受価格	193,985 百万ウォン（約 171 億円）

※ 1 ウォン=約 0.0883 円にて算出。

2. 今後の見通し

今回の債権の譲受に際しては、その回収可能性を向上させるため、従来の債権譲受時と比べ、より厳格な債権選別を行いました。このため、平成 25 年 5 月 10 日時点（前回公表時）には、250,000 百万ウォン（約 220 億円）と見積もっておりました譲受債権額は、173,588 百万ウォン（約 153 億円）で確定いたしました。一方で、今回の債権譲受では、回収の確実性を高めたことから貸倒の発生率が低下するものと見込まれ、以前の予想に比べて、今後における貸倒引当金の追加計上が抑えられる見込みとなりました。この結果、今回の債権譲受による平成 26 年 3 月期の連結業績予想への影響はないものと考えております。

当社グループでは、今後、親愛貯蓄銀行において優良な資産の積み上げを推進するとともに、更なる収益力の強化を図ってまいります。

以 上